

ESPフォーキャスト調査 質問票
2021年5月調査 (5月13日頃公表予定)
(回答の送信期限:6月10日12時)

機関名
[フォーキャスト] 氏名

- とりまとめの際のフォーキャスト一覧の機関名、肩書、氏名等の記載を変更する場合は、お書き添えください。
- 数字は半角で打ち込んでください。

I-(1) 年度(米国、中国、ユーロ圏のGDP、NY原油価格(は歴年)

Table with 21 columns: 名目GDP, 実質GDP, 実質民間最終消費支出, 実質民間住宅投資, 実質民間企業設備投資, 実質民間在庫変動, 実質政府最終消費支出, 実質公的固定資本形成, 実質公的在庫変動, 実質財貨・サービスの輸出, 実質財貨・サービスの輸入, 鉱工業生産指数, 経常収支, 消費者物価(生鮮食品除く総合), 完全失業率, 名目賃金指数, 国債流通利回り(10年物), 日経平均株価, マネーストック(新M2), 円相場(対米ドル), 米GDP(対米ドル), NY原油価格(WTI, ドル/バレル), 中国実質GDP(対米ドル), 貿易収支(速報ベース), ユーロ圏実質GDP(対米ドル). Rows include 2019実績, 2020予測, 2021#, 2022#.

注:①国債流通利回り、日経平均株価、円相場、NY原油価格は、いずれも「営業日平均」②名目賃金指数は、毎月勤労統計調査の事業所規模5人以上(パートタイム労働者を含む)の現金給与総額

I-(2) 予測値の主観的な分布

Table for subjective distribution of GDP growth rate. Columns range from x ≤ -15 to 5x. Rows include 2020年度予測, 2021年度予測, 2022年度予測.

合計値
100
0
0
0

・CPI(生鮮食品除く総合)上昇率

Table for subjective distribution of CPI increase rate. Columns range from x ≤ -4 to 4x. Rows include 2020年度予測, 2021年度予測, 2022年度予測.

合計値
100
0
0
0

II. 四半期

Table for quarterly data. Columns: 実質GDP, 実質民間最終消費支出, 実質民間企業設備投資, 実質財貨・サービスの輸出, 実質財貨・サービスの輸入, 消費者物価(生鮮食品除く総合), 完全失業率, 円相場(対ドル), 株価(日経平均), 鉱工業生産指数. Rows include 2020IV#, 2021I#, 2021II#, 2021III#, 2021IV#, 2022I#, 2022II#, 2022III#, 2022IV#, 2023I#.

III. 総合景気判断DI

- 総合景気判断として、各期ごとに「上昇」、「横ばい」、「下降」のいずれかを選択し、以下の該当する欄に「○」を入力してください。

Table for overall economic sentiment judgment. Columns: 総合景気判断, 上昇, 横ばい, 下降. Rows include 2021I#, 2021II#, 2021III#, 2021IV#, 2022I#, 2022II#, 2022III#, 2022IV#.

参考:景気動向指数DI(一致指数)の動きを想定して、以下のようにご判断ください。
当期のDIが50を超えであると思われる場合 → 「上昇」
当期のDIが50未満であると思われる場合 → 「下降」
当期のDIが50未満、または明確な動きにつながらないと思われる場合 → 「横ばい」

IV. 21年1～3月期の成長率(その他項目)

- 「II」の項目以外の前期比伸び率が、「上昇(伸び率の符号はプラス)」、「ほぼゼロ」、「低下(伸び率の符号はマイナス)のいずれかを選択し、以下の該当する欄に「○」を入力してください。在庫変動については、前期比伸び率ではなく、実質GDP成長率に対する寄与度についてお答えください。

Table for growth rate of other items. Columns: (実質)前期比伸び率, 上昇, 横ばい, 低下. Rows include 民間住宅投資, 民間在庫変動(寄与度), 公的固定資本形成, 政府最終消費, 公的在庫変動(寄与度).

V. 景気の転換点

- 政府見解では2018年10月が景気の山(暫定)となっています。その次の景気の転換点(谷)はもう過ぎたとお考えですか。

(1) 「はい」、「いいえ」の一方に「○」を入力してください。

はい いいえ

(2) ●(1)で「はい」の場合にお答え下さい。

転換点(谷)はいつだったとお考えですか。「年(西暦4ケタ)」と「月」を記入してください。

年 月

(2) ●(1)で「いいえ」の場合にお答え下さい。今後1年以内に景気の転換点(谷)がくる確率は何の位あると予測していますか。%で記入して下さい。

%

(3) ●(1)で「はい」の場合にお答え下さい。

その次の景気の転換点(山)はもう過ぎたとお考えですか。「はい」、「いいえ」の一方に「○」を入力してください。

はい いいえ

(4) ●(3)で「はい」の場合にお答え下さい。

転換点(山)はいつだったとお考えですか。「年(西暦4ケタ)」と「月」を記入してください。

年 月

(4) ●(3)で「いいえ」の場合にお答え下さい。今後1年以内に景気の転換点(山)がくる確率は何の位あると予測していますか。%で記入して下さい。

%

VI. 日銀の金融政策

(1) ● 日銀の政策金利・誘導目標の見通しについてお尋ねします。

2021年末、22年末の日銀の短期政策金利、長期金利の誘導目標・実勢金利はそれぞれどれくらいになると予想していますか。

以下のいずれかに"○"を入力してください。

「現状維持」を予想される場合は、短期は「▲0.1%以上～0%未満」、長期は「0%以上～0.1%未満」をお選びください。

		▲0.3%未満	▲0.3%以上 ～ ▲0.2%未満	▲0.2%以上 ～ ▲0.1%未満	▲0.1%以上 ～ 0%未満	0%以上 ～ 0.1%未満	0.1%以上 ～ 0.2%未満	0.2%以上 ～ 0.3%未満	0.3%以上 ～ 0.4%未満	0.4%以上 ～ 0.5%未満	0.5%以上 ～ 0.75%未満	0.75%以上 ～ 1.0%未満	1.0%以上
		短期政策金利 (現状 ▲0.1%)	21年末										
	22年末												
長期金利の誘導目標 (現状 0%程度)	21年末												
	22年末												
実勢の長期金利 (10年物国債流通利回り)	21年末												
	22年末												

(2) ● 枠組み自体の変更など(上記の補足も含む)があればご記入ください。

--

VII. (特別調査) 米国の金利

(1) ● 2021年末、22年末の米国の政策金利(FFレート・市場実勢値)はどれくらいになると予想していますか。

以下のいずれかに"○"を入力してください。

		▲1.0%未満	▲1.0%以上 ～ ▲0.75%未満	▲0.75%以上 ～ ▲0.5%未満	▲0.5%以上 ～ ▲0.25%未満	▲0.25%以上 ～ 0%未満	0%以上 ～ 0.25%未満	0.25%以上 ～ 0.5%未満	0.5%以上 ～ 0.75%未満	0.75%以上 ～ 1.0%未満	1.0%以上 ～ 1.25%未満	1.25%以上 ～ 1.5%未満	1.5%以上 ～ 1.75%未満	1.75%以上 ～ 2.0%未満	2.0%以上 ～ 2.25%未満	2.25%以上 ～ 2.5%未満	2.5%以上 ～ 2.75%未満	2.75%以上 ～ 3.0%未満	3.0%以上 ～ 3.25%未満	3.25%以上 ～ 3.5%未満	3.5%以上 ～ 3.75%未満	3.75%以上 ～ 上	
		米国のFFレート (現状0.00～0.25%)	21年末																				
	22年末																						

(2) ● 2021年6月末、12月末、22年6月末、12月末の米国の長期金利(10年国債)はどれくらいになると予想していますか。

以下のいずれかに"○"を入力してください。

		0.5%未満	0.5%以上 ～ 0.6%未満	0.6%以上 ～ 0.7%未満	0.7%以上 ～ 0.8%未満	0.8%以上 ～ 0.9%未満	0.9%以上 ～ 1.0%未満	1.0%以上 ～ 1.1%未満	1.1%以上 ～ 1.2%未満	1.2%以上 ～ 1.3%未満	1.3%以上 ～ 1.4%未満	1.4%以上 ～ 1.5%未満	1.5%以上 ～ 1.6%未満	1.6%以上 ～ 1.7%未満	1.7%以上 ～ 1.8%未満	1.8%以上 ～ 1.9%未満	1.9%以上 ～ 2.0%未満	2.0%以上 ～ 2.1%未満	2.1%以上 ～ 2.2%未満	2.2%以上 ～ 2.3%未満	2.3%以上 ～ 2.4%未満	2.4%以上 ～ 2.5%未満	2.5%以上 ～ 2.6%未満	2.6%以上 ～ 2.7%未満	2.7%以上 ～ 2.8%未満	2.8%以上 ～ 2.9%未満	2.9%以上 ～ 3.0%未満	3.0%以上
		米国の長期金利 (10年国債)	21年6月末																									
21年12月末																												
22年6月末																												
22年12月末																												

VIII. (特別調査) 景気のリスク

● 仮に現在が景気拡張局面だとすると、半年から1年後にかけて、景気上昇を抑える(あるいは景気を反転させる)可能性があるとしたら、要因は何だと思いますか。

重要なものに3つまで"○"を入力してください。また、よろしければ○を付けた理由を右欄にご記入ください。

	3つまで○	○を付けた理由
1 円高		
2 株安		
3 金利上昇		
4 原油価格の上昇		
5 公共投資の減少		
6 米国景気の悪化		
7 中国景気の悪化		
8 IT部門(電子部品など)の悪化		
9 国内政治の不安定化		
10 国際関係の緊張や軍事衝突		
11 株主主義の高まり		
12 新型コロナウイルスの感染状況		
13 オリンピックの再延期・中止		
14 その他(具体的に)		
15 原因になるものはない		

IX. (特別調査) 中国の景気判断

● 中国製造業PMI(国家統計局公表)に関して、各期ごとに「上昇」、「横ばい」、「下降」のいずれかを選択し、以下の該当する欄に"○"を入力してください。

	中国製造業PMI		
	上昇	横ばい	下降
2021 II 予測			
2021 III "			
2021 IV "			
2022 I "			
2022 II "			
2022 III "			

※PMIは、50超で上昇、50が横ばい、50未満で下降

X. (特別調査) オリンピック開催

(1) ● 今回の予測に、2021年度のオリンピック開催を織り込んでいますか。

あてはまるものに"○"を入力してください。

はい		いいえ	
----	--	-----	--

(2) ● 「いいえ」の場合にお答えください。

織り込んでいないのはなぜですか

あてはまるものに"○"を入力してください。(複数回答可)

①開催経費がどの程度膨らむの見通せない	
②再延期・中止の可能性も否めない	
③その他(具体的に)	